

【説明資料】 発明・工夫作品コンテスト 製作の動機または目的, 利用方法, 作品自体やその製作過程で工夫したことを, 文章, 写真, 図などで説明。この用紙1枚に記入し, PDFファイルに変換した後, ホームページに貼り付けてください。

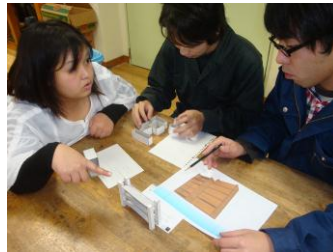
学校名	茨城大学	個人・グループ名	機械応用研究室	作品名	ブロック型靴箱
-----	------	----------	---------	-----	---------

**【製作動機】**

- ・ 本研究室にある靴箱は使用する人数の割に小さく、脱いだ靴が散乱してしまうことが多かった
- ・ 毎年研究室の学生の人数は変わるため、臨機応変な使い方ができる靴箱が必要であった
- ・ 本研究室には中学校技術科の教員を目指す学生が多いため、木材加工の技能を高めたいと考えた

**【製作方法】**

1. 設計
2. 材料をけがく
3. 丸鋸盤で材料を切断する
4. のみで継ぎ手加工を行う
5. 仮組み立てをする
6. 溝切りをし、区切りをする
7. 釘打ちをする
8. 積み重ねて利用



**【利用方法】**

- ・ 研究室の靴箱として使用する
- ・ スペースに合わせて自在にブロックを積み重ねる
- ・ 必要に応じて仕切り板を入れ、1ブロック当りの靴の数を調整する



**【作品の特徴・工夫した点】**

- ・ 研究室の各学生が案を持ち寄り、プレゼンを行った後、投票により製作する靴箱を決定した
- ・ 全員がすべての工程を体験し、木材加工の技能向上を目指した
- ・ ゲームのテトリスのようにブロックを自在に組み合わせることができ、スペースに合わせた配置を可能とした
- ・ 各ブロックの背板をなくして反転を可能にし、積み重ね方に多様性を持たせた (図1)
- ・ ブロックを補強するため6枚組み接ぎを利用した
- ・ だぼによるかくし釘をし、見栄えをよくした (図2)
- ・ 溝切りをして必要に応じてブロックの仕切り板が入れられるようにした (図3)